

DXビジネスワークショップ(体験コース)開催!

仕事のプロセスを効率化し、デジタルの力で可能性を広げませんか?

～参加後に皆さんの貴重なご意見をお聴かせください!～

オンライン開催

ビジネス環境において、DX推進は企業が持つべき重要な要素となりました。しかし、単にテクノロジーを導入するだけでは十分ではありません。

本ワークショップは、お客様の企業がデジタルフォーメーションを成功させるために、最新のトレンドとベストプラクティスに基づきカスタマイズされたプログラムを提供します。

プログラムには実践的な要素を取り入れ、参加者が学んだことを現場で活かせるよう、理論だけでなく、具体的なツールや戦術も提供し、お客様のビジネスに即効性のある成果をもたらします。

今回、第1回目として、企業の幹部の皆様、DX推進者等のキーマンの方を対象に本ワークショップを開催します。第2回目以降に向けた、PRやご意見聴取を兼ねるため、参加費無料での開催となります。

デジタルフォーメーションの波に乗り遅れることなく、お客様の企業が未来に向けて成長し続けるため、是非私たちのワークショップに参加して、ビジネスを次のレベルに進化させるための一歩を踏み出しましょう!

NTT HumanEX
パートナー講師
株式会社ライフデザイン
代表取締役
佐々木 昌宏氏

2023年9月6日(水) 13:30 ▶ 17:00 オンライン(Zoom)利用

【カリキュラム概要】 ※詳細は裏面を参照、又はユーザ協会ホームページをご参照ください。

Eラーニング(事前学習) ※8月上旬～前日



- (1)DXと向き合う
 - (2)DXと社会変革
 - (3)DXの本質理解と成功への鍵
 - (4)DXの取り組み方
- 【所要時間:約2時間】

DXワークショップ

- (1)ITやデジタル進化の恩恵
- (2)DXツールの紹介・ツールの選定、進め方
- (3)DX実現の方向性・効率化

上記学習項目について、参加者主導型のワーク中心に、理解を深めて頂きます。

(注)1.事前学習は必ず受講してください。2.本施策をより良いものとするため、終了後に、アンケートにご協力ください。

参加対象

企業の幹部・マネージャーの皆様、DXを中心となって推進される方

定員

80名

参加費

無料

お申し込み方法

8月25日(金)までに右QRコードまたは以下申込サイトからお申込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/7bd60f47202958>



お申込み順に、eラーニングのIDを払い出しますので、早期のお申込みを願います。

聴講方法

「Zoom」にてライブ配信します。URL等詳細は、お申込み直後予約確認メールにてお申込みメールアドレス宛にご案内致します。

ユーザ協会では、ICT活用事例や電話対応教育メニュー等の情報を積極的に発信しております。

本協会の趣旨にご賛同いただき、最新のICT情報等を更にお知りになりたい方は、是非この機会に協会への入会をお願いいたします。

入会には年会費がかかります。年会費の額はユーザ協会各支部までお問い合わせください。

ユーザ協会



【問い合わせ先】(公財)日本電信電話ユーザ協会 東京支部 ☎ 03-6275-0831 E-Mail: ut-tokyo@jtua.or.jp

プライバシーポリシー(プライバシーに関する公益財団法人日本電信電話ユーザ協会の確約)

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会は、常日頃より関係者の情報を厳正に管理し、プライバシー保護に努めています。ユーザ協会は、関係者様の個人情報は当協会の定款に基づく事業目的以外には、使用致しません。なお、頂いたメールアドレス宛に、今後協会の各種情報を送付させていただきます。

カリキュラム詳細

目的と進め方



- ◆事前学習として、eラーニング(DXビギンズ!)を受講いただき、DXに関する基本的な知識等について、習得頂きます。
- ◆DXを進めていくうえで、必要な知識・スキルや具体的な手法等について、参加者主導型のワークショップで理解を深めて頂きます。

eラーニング(DXビギンズ) 詳細

DXと向き合う	1章	そもそも、なぜDXが目目されるのか?
DXと社会変革	2章	国内外におけるDXの事例(あの企業は、業界の何を変えた!?)
	3章	DXは社会をどう変えたのか?(移りゆく価値観と消費スタイル)
DXの本質理解と成功への鍵	4章	DXの本質を掴む3つのポイント(価値観が多様化する時代の戦い方)
	5章	上手くいくDX⇔つまづくDX 成否を分けるものとは?(正しく向き合うことが実現への近道に)
DXへの取り組み方	6章	3つのステップで実現するDX(DXの実現に向けたストーリーとは?)
	7章	DXの実現に向けて①(組織として取り組むべきこと)
	8章	DXの実現に向けて②(個人として取り組むべきこと)

DXビジネスワークショップ 詳細

時間	学習項目	学習概要
15分	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ■ オンライン出欠確認 ■ 学習の目的とゴール/講師自己紹介/グループ名自己紹介
60分	1. ITやデジタル進化の恩恵	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「こんなことができれば便利」な未来を想像する<ワーク> ■ 単なるデジタル化もDXのファーストステップ! ■ 自社・自組織のDXの目的とは? 目的と手段のちがいを
60分	2. DXツールの紹介やツールの選定・進め方	<ul style="list-style-type: none"> ■ DXツールの紹介やツールの選定・進め方 ■ 課題から自社・自組織で使えるツールを考えてみよう<ワーク> ■ 組織視点とユーザー視点で自社・自組織のDXの目的を明確化<ワーク>
60分	3. DX実現の方向性・効率化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自社・自組織のDX実現を「守りのDX」から考える ■ ケース事例で、業務フローの棚卸・効率化対象フローを洗い出す<ワーク> ■ 対象フローのDXによる効率化を検討・効果の数値化を試みる<ワーク>
15分	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本ビジネスワークショップで分かってほしかったこと ■ 自社・自組織で取り組むこと<ワーク>

※本カリキュラムは、企業様内での育成展開や企業様の要望等に即してカスタマイズ(有料)が可能です。
 詳しくは事務局へお問い合わせください。 【ユーザ協会東京支部事務局 TEL03-6275-0831】